

◆東京オペラシティにて チャリティ・サマー・コンサート開催

8月23日(木)に東京オペラシティにて、子供地球基金のためのチャリティ・コンサートが開催されました。株式会社ワールド航空サービス主催のもと、大町陽一郎先生を指揮者にお迎えし、東京大学フォイヤーヴェルク管弦楽団により、ハンガリー舞曲第4番へ短調など計4曲の見事な演奏が披露されました。

コンサート当日は、子供地球基金のブースの設置や子どもたちの絵画も展示され、活動をご紹介させていただきました。

コンサートの収益金はすべて、子供地球基金へご寄付いただき、キッズ・アース・ホームベトナムの子どもたちのために活用させていただく予定です。ご協力に心より感謝いたします。



◆子供地球基金主催・ファンドレイジングパーティー開催のご案内

クロアチアの戦争被災児のために建てられた第1号キッズ・アース・ホーム再建を目的に、恵比寿ガーデンプレイスにあるシャトーレストラン「ジョエル・ロブション」にて、ファンドレイジングパーティーを開催いたします。ジョエルロブション氏プロデュースによるシンプル・フレンチのフルコースディナーをお楽しみいただくほか、スペシャル企画として、世界を代表する日本画家・千住博画伯による版画作品のチャリティオークションを実施いたします。

戦後10年以上経つクロアチアでは、子どもたちを取り巻く環境はまだまだ厳しく、キッズ・アース・ホームの再建が急務です。当日の様子は、ファンドレイジング結果は次回にてご報告いたします。



◆新作チャリティカード販売開始

新デザインのクリスマスカード・多目的カード・ハガキの3種類が完成し、三井住友海上スマイルクラブ*のご協力のもと販売を開始しました。今年は、例年参加している第1号キッズ・アース・ホーム(クロアチア)の子どもたちに加え、昨日のカード収益金の一部で支援活動を実施したパキスタンの子どもたちや、アメリカにあるキッズ・アース・ギャラリーを訪れた子どもが描いた絵もデザインに起用されました。カードの売上げは、旧ユーゴスラビア地域の子どもたちをはじめ、世界中の子どもたちの支援活動に使われる予定です。



Smile Heart  Club ※

お問い合わせは、チラシ又は三井住友海上火災保険(株) HPより

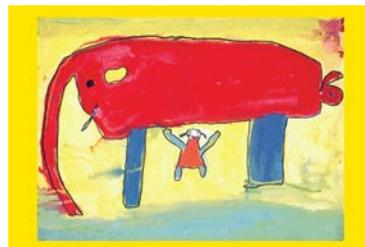
http://www.ms-ins.com/csr/social/smile_christmas.html

お問合せ 「スマイルハートクラブ」事務局 104-8252中央区新川2-27-2

※三井住友海上グループ 社員の社会貢献活動団体



「自分の描いた絵で誰かを助けられることが出来るなんてワクワクする!」とパキスタンのこどもたち



今年のデザインに参加したのは、クロアチア・中国・マレーシア・アメリカなどのこどもたち



■ NEW MEMBER

新規にご入会いただいた方々です

【個人会員】 衣幡 征治 他4名 【団体会員】 キャドバリージャパン (2007年6月1日～2007年8月31日現在・五十音順)



特集 地震被災後1年半余 パキスタン支援



昨年のパキスタン地震の被災地パキスタン東部カシミール州を訪れ、被災児童の心のケアを目的としたアートワークショップを実施しました。三井住友海上スマイルハートクラブのご協力のもと、昨年スリランカで行った津波被災児を対象にしたアートワークショップに引き続き、特定非営利活動法人ジェン(JEN)との協働事業として実現しました。

2005年10月8日にパキスタン北部でマグニチュード7.6の地震が発生し、甚大な被害を及ぼしました。被害は死者7万人強、被災者350万人と言われてます。今回訪れたカシミール州バーク県は、特に被害の大きかった地域のひとつで、支援の行き届きにくい山岳地域でした。子どもたちが通う学校も、90%近くが未だ全壊または半壊で、1年以上経った現在でも仮設教室やテントでの学習を余儀なくされています。大切な人、ものを失った人々の精神的ダメージは計り知れません。被災した子どもたちがその心の傷や恐怖心を少しでも癒すことができるよう、4つの学校で約120名の子どもたちとのアートワークショップを開催しました。学校で絵画の授業がない子どもたちは、筆と絵の具を使って絵を描くのはこれが初めて。自分の気持ちを、言葉で



けでなく、描くことでも表現できる楽しさを感じたようでした。初めて絵を描くという体験をした子どもたちからは「今日絵を描いたことで、他の国の子どもたちを救うことができると知って感激した」「これから家でも絵を描きたい」と顔に満面の笑みを浮かべてこたえてくれました。

今回のアートワークショップには、仲間と一緒に絵を描くことを通じて、被災した子どもたちの心のケアをするという目的のほかに、世界の子も同士が絵を通じてお互いを支え合う、という意味もあります。今回の事業開催費は、スリランカの子どもたちが描いた絵でデザインされたポストカードの販売収益金が一部含まれています。昨年スリランカでワークショップを受けた子どもたちからの応援が、今回パキスタンの子どもたちに届けられたこととなります。まさにKids Helping Kids 子どもたちの支援の循環が実現しました。

パキスタンの子どもたちが描いた作品は、世界中の子どもたちへの力強いメッセージでもあり、被災したパキスタンの大人たちや村の住人たち皆を勇気づける「復興」のシンボルとなることでしょう。



KIDS EARTH HOME Project キッズ・アース・ホームプロジェクト

8月10日より、代表 鳥居がベトナムならびにカンボジアへ赴き、第5号ホームならびに第6号ホームにて、物資支援とアートワークショップを実施しました。

第5号 キッズ・アース・ホーム ベトナム

夏休み中にも関わらず、たくさんの子もたちがPainting & Planting Projectに参加。木をテーマにした絵が完成しました。また番町小学校の子どもたちの作品を寄贈すると、元気溢れるメッセージに感嘆の声が上がりました。温かい贈り物のお返しにと、彼らの日常の仕事(靴磨き、新聞売り、宝くじ)を描いた絵をプレゼントしてくれました。



日本からの贈り物に大喜び!

第6号 キッズ・アース・ホーム カンボジア

400人を超える子どもたちが通うカンボジアのホームでも、自然について考えるアートワークショップを行いました。なお、今年は、三井住友銀行のご協賛により、3教室の増設、職業訓練授業開始(ミシン、体育)という形で支援が決定しました。子どもたちの未来に直



これから色々な授業に挑戦します

結する授業の開始に、皆心から喜んでいました。またカンボジアでは、シュムリアップのカンタボバ病院を訪問。ビート・リヒナー医師を筆頭に、流行するデング熱の対処に追われています。子供地球基金では、今年も薬品、医療器材の追加支援を決定致しました。ひとりでも多くの子どもが元気になりますように。

夏休み! キッズ・アース・ホーム東京で絵を描こう!!

夏休み期間中、キッズ・アース・ホーム東京では毎週金曜日にアートワークショップを行いました。たくさんの子もたちが参加し、自分たちが暮らす地球の環境についてや世界の国々についても理解を深めながら絵を描きました。その他、新潟県中越沖地震で被災した子どもたちへの励ましの絵や、小児病棟の子どもたちとの合作作品にも取り組みました。作品からは、猛暑にも負けない子どもたちのエネルギーが伝わってきます。そのエネルギーが、さらに支援を必要とする子どもたちを助け、彼らの笑顔につながっていきます。



大きな模造紙に木の幹を書こう!

KIDS EARTH CAR Project キッズ・アース・カープロジェクト

クロアチア・日本の子どもたちによる絵の異文化交流～お話の世界を絵にしよう～



クロアチアからの絵に大喜びの子どもたち

2004年より始まった第1号キッズ・アース・ホームと、児童養護施設至誠学園の子どもたちのアートを通じての異文化交流。4回目となる今年は、クロアチアの子どもたちは、彼らの町(トブスコ市、グボーズド市)に伝わるお話を絵で表現し、日本の子どもたちにプレゼント。日本の子どもたちは、昔話「浦島太郎」を題材にコラージュを作成。日本の伝統文化や風景も伝えたいと、時間も忘れ、一生懸命描いた作品は、クロアチアの子どもたちに届けられます。

子どもたちにとって、お互いの理解を深める異文化交流となりました。

ご協力: ゴールドマン・サックス証券株式会社、ターナー色彩株式会社



丁寧に、そして真剣に作業を進める子どもたち

慈恵医大 ～お口～

病院で必須アイテムの「マスク」。しかし小児病棟では、マスクがあまり好きではない子どもたちもいます。そんな嫌悪感を少しでも払拭できれば・・・。

ワークショップ当日は、まずはじめに、ヤマハからよりご寄贈いただいたピアノの音に合わせて、手拍子をとったり、大きく口を開けて歌ったり。そしていよいよキャンパスが登場。ボランティアの皆さん手作りのスポンジの唇型スタンプを大きなキャンパスに押し、絵の具で顔を描きくわえます。最後は、看護師/保育士さんたちの手作りマスクをかけて完成! お口とマスクを取り上げたワークショップに、子どもたちの顔からは笑みがこぼれ、大満足の様子でした。(作品はその後、病棟内に飾られています)



ピアノの音を楽しむ子どもたち



この口にはどんな顔を描こうかなあ

コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.18

顧問 原島 博 (東京大学教授 コミュニケーション工学 顔学)

いまからもう20年以上も前、家族を連れてヨーロッパのある都市を訪問した時のことです。当時、私の息子は2歳と5歳でした。

長旅に疲れた家族をホテルに残して、私は1人で街に出ました。その時の印象は、正直言って寒々としたものでした。人たちの顔には表情がなく、みな仮面をつけているようでした。私を見る目つきも、いわば犯罪者を見るような、警戒心にみちたものでした。

このような街に家族とともに外出して大丈夫だろうか、本気で悩みました。翌日、子どもたちを完全武装させて街にでました。下の2歳の子はバギーにのせて、上の子には絶対にバギーから手を離さないように言い聞かせながら。

ところがです。その日の街はすっかり変わっていました。街は暖かい印象で、私たちとすれ違う人たちはみな笑顔でした。そればかりか、私たちにも優しく話しかけてきました。「まあ、かわいい」「いまいくつ?」・・・。

もうおわかりだと思います。私の二人の子どもが周りの人たちを優しくしたのです。子どもとくに赤子や幼児を見るときは、みな自然に優しくいまなざしになります。街は何と言っても人なのです。赤子や幼児が親に抱かれながら、あるいはバギーで安全に歩ける街、そして子どもたちが安心して遊べる街、そのような街であれば、みな自然にいい顔になります。私たち家族は、それをヨーロッパの街で実感したのでした。

展覧会



- 北海道・札幌市
6/9(土)～11(月)
モエレ沼公園ガラスのピラミッド
HIDAMARI「太陽と光の芸術祭」にて
- 京都・山科区
7/17(火)～31(火)
西野保育園 夏祭りにて
- 京都・左京区
10/8(月)～18(木)
ル・カフェ338にて
- 京都
10/21(日)～28(日)
京都外国語大学
創立60周年記念事業「Imagine Peace」にて
- 京都
秋
ノートルダム女子大学
チャリティ絵画展
- 東京・千代田区
6/10(日)
三井住友銀行主催コンサート会場
日本大学カザルスホールにて
- 東京・新宿区
8/23(木)
ワールド航空・東京大学ファイヤーヴェルク
管弦楽団主催
チャリティ・サマー・コンサート会場
東京オペラシティコンサートホールにて
- 東京・世田谷
10/1(月)～31(水)
沼田絵本美術館にて
- 大阪・天保山
10/26(金)～11/11(日)
サントリミュージアム(天保山)にて